#### 百姓から武士へ

# 世田三五郎出世すごろく

行田市郷土博物館

とのこれである。 る二の丸を守る大 切な役首。

### できた。 百姓から武士に

#### 寛政 11 年 (1799) -47 歳-

おしはんしゅ あ べ まさより けんじゅつ 忍藩主阿部正由に剣 術 しなんやく けんじゅつ せんせい 指南役(剣術の先生)と して営しかかえられる おめでたいので 2 コマすすむ

享和3年(1803) --51 歳--

ますます剣 術 指南 にはげみ忍城二の , saith が **・** 丸番を命じられる。

文政2年(1819) **一67 歳一** 

大勢指導し る藩主阿部正権より まうび 褒美をいただく

#### 殿さまの前で敗退

aluanle こぜんじぁい 忍藩主の御前試合 で同門の秋山要助 と対戦し敗れる ショックで 1回休み

くにが **国替え** 

文政 6 年(1823) **一71 歳一** 

aldalo a c stano Lishta 忍藩主阿部正権が白河

(今の福島県白河市)へ 国替えとなる 引越しの準備で 1回休み

びょうき 病 気のため けんじゅつ し なんやく 剣 術 指南役を 退く 100 これまでの頑張りが みと 認められ金200疋を

あがり

文政 7 年(1824) —72 歳—

いただく

ふるさとの認を 離れ白河へ

> <sup>わざ こころえ</sup> 技や心得のすべてを修得 したと、師匠が認めた者だ けがもらえる特別な資格。

## めんきょかいでん 免許皆伝

しんとうむねんりゅう 神道無念流の めんきょかいでん 免許皆伝となり きんてい しどう 門弟の指導も 許される

けいこどうぐ てい 稽古道具の手入

れをするので

上野国(今の <sup>c</sup>んまけん たかさき 群馬県)高崎で どうじょう ひら もんてい 道場を開き門弟が 数百人に増える・

きんごろう けんじゅつ 三五郎の剣 術の またない ましばんしゅ まへ 実 力は忍藩主阿部 正由にも知られる ようになる

にしにほん 西日本での修行中、対戦した あいて なまえ ばしょ りゅうは とくちょう 相手の名前、場所、流派、特徴 などを書きとめたもの。



もんてい おおはらでんしちろう 門弟の大原伝七郎が 1年間、西日本方面に じゅぎょう たび で 修行の旅に出る

ひたすら稽古に

はげ わざ 励み技をみがく

たら ぼくとう ちょうたつ 新 しい木刀を 調 達 テンションが上がり 稽古に力が入る 1コマすすむ

しんとうむねんりゅう 神道無念流 と が さきてるよし にゅうもん **戸賀崎暉芳に入門し** しゅぎょう せんねん 修行に専念する 1回休み



神道無念流 (しんとうむねんりゅう) と望口で3回言ってみよう! うまく言えたら 2 コマすすむ

# ふりだし

#### 宝暦 2年(1752)

t5 だ t5 ひゃくしょう み た け 持田村の 百 姓 三田家 に生まれる

#### 稽古をはじめる

もちだむら 持田村で竹刀による う 打ち込み稽古を はじめる

にゅう もん **八 門**